



公益財団法人
堺市文化振興財団

堺市文化振興財団は、1994年に設立された堺市の文化芸術に関する振興・支援団体です。

フェニーチェ堺(堺市民文化芸術ホール)をはじめ市内各施設を指定管理するほか、堺市内の小中学校・認定こども園、子育てサークル、病院・福祉施設、子ども食堂といった地域の様々な場所で、クラシック音楽、オペラ、造形、能楽、バレエ、コンテンポラリーダンスといった様々な芸術ジャンルのアーティストと連携して、コンサートやワークショップを実施しています。

また、若手アーティストが登録する(堺市新進アーティストバンク)を運営し、実践研修プログラムの実施とあわせて、地域社会に貢献できる優れたアーティストを堺市から輩出することを目指して、日々事業に取り組んでいます。

お問い合わせ先

〒590-0061 大阪府堺市堺区翁橋町2丁1番1号
公益財団法人堺市文化振興財団 事業課
jigy@sakai-bunshin.com tel.072-228-0880



堺市
新進アーティストバンク
実践研修
プログラム
実施報告書

2021年度

実践研修 プログラムとは

堺市新進アーティストバンク音楽部門に登録するアーティストを対象に、地域や社会とつながり、様々な趣旨・対象のコンサートを企画運営できるアーティストの育成を目指して実施された事業です。
与えられた課題に沿ってコンサートを企画し、専門家からのアドバイスを受けながら準備・運営・出演する中で、アーティストとして必要なスキルを学びます。

本番

2022.1.30



研修の集大成として

「0歳からのファミリーコンサート～ピアノとサクソでゆく! わくわく汽車の旅～」を、午前・午後の2回公演で開催しました。

参加者5人が車掌となり、サクソ駅、ピアノ駅、ふれあい駅、終点みんなの駅へとお客様をご案内。楽器や曲紹介、手遊びの内容をはじめ、お話の仕方も参加者5人で考え、開演ギリギリまで、よりよいコンサートとなるよう試行錯誤しました。コンサートでは、リズムに乗って踊る子や、楽器をじっと見つめる子、なんだろう?と近づき子...そして保護者の方々も子どもたちと一緒に楽しんでいる姿など、嬉しい反応がたくさんありました。

終演から1か月後、研修での学びと成果を振り返る最終報告会を開催しました。

報告会では、研修開始時に各自が立てた「目標」「アクション」に加えて、本番を終えた振り返りとして、「プログラムを通じて学んだこと」、研修を通して「できたこと・できなかったこと」「今後の目標」について発表しました。

最終報告会

学び

- 今までは作品に向き合うことがすべてで、人に届けるとはどういうことかをここまで意識したのは初めて
- 実際にコンサートを作るには何をしなければならないのか、とても勉強になった

成果

- 0～2歳が喜ぶこと、保護者が喜ぶことについて一から学び、演奏や声掛け、手遊びの内容、舞台のレイアウトに反映できた
- 「誰に向けて、何を伝えたいのか」を考え抜くことがコンサートを企画するうえで大事だと学んだ

今後の課題

- 5人のメンバーそれぞれのよさを引き出すことが難しかった
- もっとレパートリーや音楽についての知識を増やさないといけないと感じた

アドバイザーコメント



宮地雅彦

音楽指導者/シンガーソングライター
クラシックの音楽を、小さい子どもに興味をもってもらうために、どのように進めていけばいいか?とすごく苦労されていました。音楽をただ子どもたちに押し付けるのではなく、ストーリーの中に音楽を上手に乗せ、子どもたちも参加できる、そんな案を考えて頂き、一体感のある音楽会になったと思います。これからも素敵な音楽を色々な角度からたくさんの人に伝えていけるよう頑張ってください。



安達梨紗

打楽器奏者/ワークショップデザイナー
日本では音大生には、企画書の書き方、MCの作り方などを学ぶ機会は多くなく、大学卒業後は、ひとつの公演に時間をかけ、人から意見をもらい成長する場はさらに貴重です。特に、同じ大学でない初対面同士が協働することで、各々自分の強みを自覚できたと思い、この研修プログラムはとてもよい取り組みだと感じました。今後は、楽曲やアクティビティのレパートリーをさらに増やし、多方面で活躍することを期待しています。

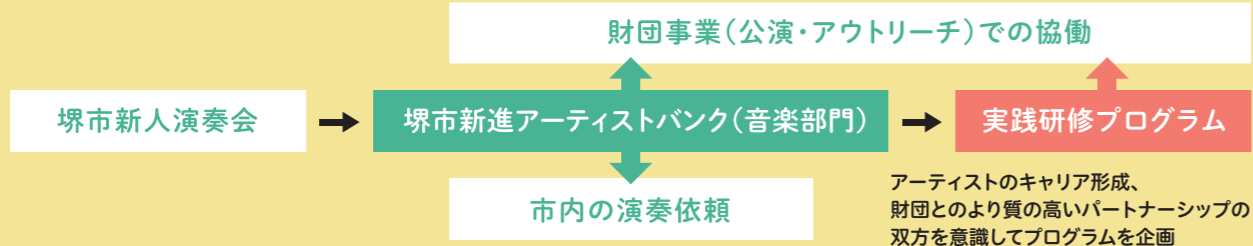


南 寿美

堺市子育てアドバイザー
泣くかもしれない、動き回るかもしれない、小さな子どもならではのハプニングを想定し、なおかついっぱい楽しんでもらう為に、打ち合わせでは多くの質問を投げてくださいました。当日、親子が気持ちよく汽車の旅でサクソやピアノに出会い、ふれあい遊びを楽しむ姿を見て、たくさん話し合いを重ねて作り上げてきたことが伝わりました。何より皆さんの明るい元気な姿がこのコンサートが一番盛り上げていました。とても良かったです。

条例等との関係

自由都市堺文化芸術まちづくり条例 第13条
第2期堺文化芸術推進計画 基本的施策5/重点的施策2-2



研修課題

対象

堺市内子育てサークルに参加する子ども(0～2歳)と保護者(両親に限らない)

内容

お話やアクティビティ等を必要に応じて盛り込み対象のお客様が最後まで楽しめるもの

準備

企画書、舞台・会場進行計画、広報・フライヤーデザイン

コンセプト Concept

- 1 子どもも大人も楽しめる
- 2 ホールだからこそ体験できる
- 3 アーティストにとっても挑戦となる
- 4 聴き手の可能性を信じる

プログラムの流れ (令和3年度)

6月 募集開始

7月 オリエンテーション

8月 定例 MTG 企画ブラッシュアップ ①

9月 アドバイザーによる講習
定例MTG 企画ブラッシュアップ ②

10月 定例MTG 企画書完成

11月 定例MTG フライヤー作成会議

12月 定例MTG 会場・舞台進行計画会議

1月 定例MTG 直前打ち合わせ
本番 0歳からのファミリーコンサート

2月 最終報告会

研修参加者



標本夏奈子(サクソ) 藤原朱里(サクソ) 薄木咲良(ピアノ) 山本安耶香(ピアノ) 横山琢哉(ピアノ)